



令和5年12月25日

備前長船刀剣博物館	
担当者	主査（学芸員） 杉原賢治
電話番号	0869-66-7767（直通）

## 新収蔵品の「太刀 銘 景秀」を初公開します

平素は、備前長船刀剣博物館に格別のご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、備前長船刀剣博物館にて、鎌倉時代中期の作品で、「国宝 太刀 無銘一文字（山鳥毛）」と同じく、約700年ぶりに瀬戸内市に里帰りした景秀の太刀を、現在開催中のテーマ展「新収蔵品展」で初公開します。

公開については、当館ホームページ（<https://www.city.setouchi.lg.jp/site/token>）で随時発信してまいりますのでご確認ください。

### 記

- 1 展示内容 「太刀 銘 景秀」の公開
- 2 公開期間 令和6年1月6日（土）～令和6年2月4日（日）
- 3 公開場所 備前長船刀剣博物館 2階展示室（瀬戸内市長船町長船966）
- 4 景秀について 景秀は、長船派の始祖である光忠の弟で、日本一長く続いた刀工集団である長船派の黎明期を兄・光忠とともに担いました。景秀は兄・光忠とともに傑出した刀工であり、大名家が有する作品を残しています。今回展示する景秀の作品は、極めて珍しい在銘であることに加え、作られた当時の姿をよく残しています。また、刃文は、長船派の黎明期の特徴的な大丁子乱れであることから、美術的にも非常に価値が高いものになります。鎌倉時代中期の作品で、「国宝 太刀 無銘一文字（山鳥毛）」と同じく、約700年ぶりに瀬戸内市に里帰りした名品になります。
- 5 その他
  - ・1時間40名の入場制限を行っています。
  - ・取材の際は、事前に連絡願います。